

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	アプリ児童デイサービス西みずほ台			
○保護者評価実施期間	2024年12月10日		～	2025年1月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22名	(回答者数)	17名
○従業者評価実施期間	2024年12月10日		～	2025年1月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数)	9名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月21日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムが固定化されないような工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カレンダーに担当職員をバランスよく配置し見える化することで同じ内容にならないようにしている</li> <li>・季節を取り入れたプログラムの提供以外にも音楽/運動/制作/読み聞かせなど様々なプログラムを週間のバランスを見ながら取り入れている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状作業療法/SSTなどのプログラムが少なく、療育的なプログラムを取り入れられるよう職員会議で専門的な知識を学ぶ機会を設ける</li> <li>・子どもたちの成長に合わせてより興味の幅を広げていけるようなプログラムの考案(料理や外出等)</li> </ul>
2	保護者支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小さな怪我や変化も必ず報告</li> <li>・利用児童に直接関係のない保護者の話も聞くことで現在の家庭状況を知り、利用児童の精神状態を推測</li> <li>・送迎時に悩みや雑談等話しやすい環境づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の目にも触れる号外的な通信の作成(現在月に1回)</li> <li>・保護者様の気持ちに寄り添った言葉選びができるよう“伝え方”について職員間で話す機会を増やす</li> </ul>
3	日々の支援の記録	<ul style="list-style-type: none"> <li>・申し送りノートの作成 その日あったことや保護者からの連絡等すべて記録</li> <li>・改善が必要な場合終礼での話し合い→記録→朝礼での共有という流れにできるようその日の記憶が新しいうちに話し合うようにしている</li> </ul>	より重大なケースの場合職員会議という形を取り支援の向上に努めていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	専門資格を持った職員がいない(OT/ST/PT)	・応募がない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・求人をかけ常時募集</li> <li>・現在の職員が資格を習得することは難しいが簡易的な研修等への参加や知識の獲得で職員のスキルアップを目指す</li> </ul>
2	事故防止/防犯マニュアル・訓練・避難場所が保護者に周知されていない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約時には必ず説明しているが期間が空くことで忘れられてしまっている</li> <li>・訓練も行っているがその日ご利用でない児童には伝えることができていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再度面談等でマニュアルについて周知</li> <li>・1年に1度は通信にて非常時の流れ/避難場所/訓練の様子を発信</li> </ul>
3	地域の他の子どもと活動をする機会がない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症などの不安があるため積極的に行えない</li> <li>・保護者様で不安を抱える方もいらっしゃる</li> <li>・慣れない環境や知らない人に会うことで不穏になってしまう児童もいる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無理のない範囲で地区のイベント(お祭り等)への参加を試みる</li> <li>・地域発信の広報などで参加できそうな活動を随時チェックしていく</li> </ul>